

市指定史跡・続日本100名城 150番

ふるみや

古宮城

(愛知県新城市)



古宮城遠景（南から）

古宮城は徳川と武田の領地の境目に武田信玄が築城した城郭です。城跡は平成29年4月6日に続日本百名城に認定され、その後、平成30年9月27日に市の史跡に指定されています。

古宮城の特徴

古宮城は元亀3年(1572)以降に武田信玄が築城し、その縄張り設計は馬場美濃守信春によるものと推測されています。独立丘陵全体に配置された土塁や堀などの、戦国時代の遺構がほぼ完全な形で今に残る非常に貴重な城跡です。ここでは武田方の徳川に対する拠点城郭としての性格のほか、「丸馬出し」、「両袖枡形虎口」、「横堀」など、これまで徳川方や武田方の特色とされてきた遺構が混在して認められることも大きな特徴です。



古宮城跡東側丘陵 両袖枡形虎口

